

新情報システム学体系調査研究委員会（以下、委員会）委員長の伊藤です。

この度、2019年度末を目標に「情報システム学（改定版）：仮称」（以下、改定版）を発行する計画です。

委員会では、2014年2月に『新情報システム学序説－人間中心の情報システムを目指して』を発刊以来、情報システム学に関する最新検討結果を盛り込み、内容を充実させた改定版の具体的な内容や全体の構成を議論してきました。

改定版においては、基本的には序説の構成や内容を踏襲しつつも、その後の調査結果及び序説発刊後に寄せられた様々なご意見を反映させ、新たな視点を導入し、部分的に構成を変更する方針です。

ポイントは、情報システムについて第1部理論編（サイエンス）と第2部実務編（エンジニアリング）との連環を密にするために主要概念・方法について改定・追記し、関連する記述についても読者の理解が深まるように加筆します。

そして理論の実務への応用を展望します。情報教育については、その重要性から情報教育のみの独立部にします。また、現在、社会を大きく変化させる推進力となっている情報技術動向も含めた今後の展望を追加部とします。

さらに本改定版は当学会が主張する情報システム(IS)プロデューサの育成基盤となるばかりでなく、今後の情報システム技術者、利用者等の育成指針となることを目指します。詳細は、資料1をご参照ください。

さて、今回の改定版の作成に当たっては、広く学会会員の皆様に執筆者としてご参加いただきたいと考えています。

前回序説の執筆にも学会内の有志の方々にご参加いただきました。参考までに前回序説編纂時の各章毎の執筆参加者の一覧を資料2に添付しました。また、執筆及び発行のスケジュールは下記の通りです。

ご希望の方は執筆される章を決めていただき、メールで回答下さるようお願いいたします。同じ章への執筆希望者が多い場合には、個別にご相談の上、委員会にて調整させていただきます。

以上の主旨をご理解いただき、是非、執筆陣にご参加くださるようお願い申し上げます。

----- 記 -----

◆執筆及び発行スケジュール：

- 5～7月：各章のコンセプト共有、ブリーフィング（これまでの経過について委員会メンバと参加者との間で議論し、意識合わせを行います。）
 - ・全体および、第1部の骨子の説明
 - ・各部、各章のコンセプトの共有、討議
- 8、9月：各章の執筆・完成（複数人による共同執筆をお願いする予定です。）
- 10月：結合評価（各部評価）、内部開発完了
- 11月：有識者レビュー（別途、募集）
- 2月：改定版の発行

◆改定版のボリューム

改定版全体で200頁程度を目安とする。※各章は10ページ程度を予定。

◆添付資料

資料1：情報システム学改定版の主旨（目的と基本的な考え方）

<http://www.issj.net/mm/mm13/11/mm1311-ks-ks.pdf>

資料2：序説の執筆者と各章の対応表（改定版目次構成に対応）

<http://www.issj.net/mm/mm13/11/mm1311-js-js.pdf>

◆【依頼事項】

下記事項を記入しメールでご回答くださるようお願いいたします。

----- 応募記入事項 -----

- ・ご氏名
- ・ご所属
- ・ご連絡先（Eメールアドレス）
- ・執筆いただける章番号と章名（複数可）
- ・特記事項（コメントがある場合にご記入ください）

提出先メールアドレス：shigetaka-i■nifty.com

c c メールアドレス：issj-office■issj.net

（■は@に置き換えて下さい）

ご質問やご意見がある場合も上記メールアドレスにご送付ください。

※応募期限：2月28日（木）までをお願い致します。

◆＜予告＞執筆応募者各位への説明会について

応募頂きました方々に対して、今回の改定版作成、発行に関する主旨、内容、スケジュール等の説明とQ&Aを実施予定です。

（応募者に別途、ご案内予定。）

- ・開催日：4月下旬～5月前半の間で開催を予定。
（平日の夕方以降か土曜日の午後を予定）
- ・会場：都内を予定

以上